

2019 年度事業計画案

(2019 年 4 月 1 日より 2020 年 3 月 31 日まで)

ボンド磁性材料工業技術の改善発達を図り、関連業界の健全なる発展に寄与するため、下記事業を実行するとともに、ボンド軟磁性材料関連の法人会員の加入を促し、生産動向および技術動向の基礎資料の収集を図る。

(1) ボンド磁性材料の生産、消費に関する調査研究

1. ボンド磁石関連の生産、消費に関する調査研究

1.1 ボンド磁石出荷統計資料作成の継続

1.2 国内外のボンド磁石生産状況及び関連するセット統計情報を把握し公表する

「2019 年・日本ボンド磁石業界推定値（速報）」 2020 年 新年賀詞交歓会にて公表

「2019 年・ボンド磁石関連セット統計」 B M ニュース 62 号、63 号に掲載

「2019 World Bonded Magnet Output」 2020 年 4 月 法人会員限定で公表

「2019 年ボンド磁石の出荷統計と需要動向」 2020 年 4 月 法人会員限定で公表

2. ボンド軟磁性材料の生産、消費に関する調査研究

2.1 軟磁性材料研究会を継続し、現在注目されている圧粉磁心を主に、ソフトフェライト、ケイ素鋼、アモルファス金属、ナノ結晶金属等の代表的な軟磁性材料の国内外の材料技術や応用技術、さらには関連市場の動向を調査研究し、研究会に参加いただく企業全体の技術の発展に役立つような活動を行う。

(2) ボンド磁性材料に関する国内外の情報収集

1. 関連団体との交流

国内関連団体との交流を密にして情報の交換をおこなう。

2. 海外学会業界団体との交流

海外の市場動向、技術動向を把握するため、積極的な交流を通じて情報収集を進める。

ボンド磁石の生産統計について欧米におけるデータ入手を検討する。

3. 「永久磁石の国別輸出入統計値の収集」 B M ニュース 62 号、63 号に掲載

4. 磁石用希土類金属の輸入統計入手を検討する

(3) ボンド磁性材料の技術に関する調査研究

1. 技術例会の開催

会員間の技術的向上を図るためタイムリーなテーマを取り上げて講演会を開催し討議の場を持つ

第 95 回技術例会「磁石材料および磁気応用製品の最新開発動向」 (2019/5/16)

第 96 回技術例会「未定」 (2019/9/19)

会終了後、Web 上でアンケート調査をする。

2. 規格及び基準の制定

2.1 ボンド磁石関連

「ボンド磁石試験方法ガイドブック」改訂版のPR・頒布を継続する。

2.2 ボンド軟磁性材料関連

圧粉磁心のIEC規格案を検討する。

マーケットリサーチを実施する。

「ボンド軟磁性材料試験方法ガイドブック」作成を検討する。

(4) ネットワーク活用による情報伝達の効率化

1. 協会ホームページ活用により、協会活動（シンポジウム、技術例会、寺子屋塾の開催等）をPRを継続する。
2. 電子メールを活用することで情報伝達を効率的に行い、経費削減を継続する。
各種行事の申込みをWeb上で行う。

3. 技術会議 既講演タイトル等をWeb上で検索できるようにする。

(5) ボンド磁性材料の普及啓発

1. 機関誌の発行

機関誌「BM News 62号、63号」を10月、4月を目標に発行する。
(既刊 No.1～No.61)

2. 講演会および講座の開催

業界環境変化に即応した講演会又はシンポジウムを適時開催し、ボンド磁性材料業界の活性化とユーザー・メーカーへの啓蒙を推進する。

2.1 2019年シンポジウム 2019/12/6 開催予定

2.2 JABM新春公開セミナー 2020/1/17 開催予定

2.3 寺子屋BM塾 2019年前期講座開催

講師：島田寛 東北大名誉教授

第1講義 5/31、第2講義 6/21、第3講義 7/26

2.4 寺子屋BM塾 2019年後期講座開催

第1講 9月13日 講師 未定

第2講 10月18日 講師 未定

第3講 11月15日 講師 未定

2.5 軟磁性材料研究会開催

第17回 6月28日 外部講師 石山 和志（東北大学 教授）

第18回 11月22日 外部講師 未定

2.6 圧粉磁心の規格化・標準化部会

第12回 6月28日

第13回 11月22日

2.7 国内外における関連業界団体が開催する事業に協賛し、必要に応じて参加し相互交流を深める。

2.8 校正用磁石セット頒布の継続と促進

校正用磁石を用いることにより、磁気測定値の信頼性向上を図る。

Ver.3 50セット用材料は入手済み。26セット頒布済み。

(6) 協会体制の充実と組織強化

1. ボンド磁石およびボンド軟磁性材料関連の未加盟主要メーカーの加入促進を図る。
2. 協会の安定性・永続性をめざして協会体制の充実を図り業界の活性化に努める。
3. 見学会、研修会を開催し、会員相互のより一層の親睦融和を図る。

以上